

県立工業技術センター研究課題評価シート【平成 23 年度】

[終了報告 (外部競争資金)]

	研究課題名	研究の概要	提案機関へのアドバイス
	担当部署		
	研究期間		
4	<p>プラズマチューブアレイを用いたフレキシブル紫外光源の研究開発</p> <hr/> <p>材料技術部</p> <hr/> <p>平成 21 ~ 22 年度 (2 年間)</p>	<p>真空紫外光源の効率的な発生と紫外光を効率的に取り出すプラズマチューブアレイ技術、蛍光体材料の技術を融合させて、フレキシブルで大面積・高効率な紫外光源の開発を目的とした研究。世界初の薄型・大面積・曲面型のUV光源を試作し、医療分野などの曲面・面照射を必要とする応用分野に対する有効性を示した。今後は、大面積・フレキシブルな紫外光源の特徴を生かして、医療用、露光用、滅菌用など各種紫外線照射装置として新市場の開拓を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療用も含めて、産業利用への展開を進めていただきたい。 ・面光源としては、大きな成果が得られている。水銀規制にも対応した技術であり、医療などの特殊な分野だけでなく、利用法の拡大を期待する。 ・幅広い分野の需要が期待できる。 ・技術を活かした治療器に期待が大きい。期待にこたえることができるようコストの低減を願う。